

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3-2201
研究課題名	カーボンニュートラル目標と調和する日本の物質フロー構造の解明
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	南齋 規介

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

物質フローに着目したカーボンニュートラル実現シナリオ提案を目指した新規性の高い研究と評価する。特に、カーボンニュートラル実現に向けた資源循環 CCUS 技術の 3 つの意義・役割を示し、炭素・エネルギー・システムの観点でカーボンニュートラル実現に必要な条件に対応した 3 指標で評価する手法を提案し、3 種類の技術により評価結果を示し、複数種類の資源循環 CCUS 技術について比較することで、当面有望となる処理技術と CCUS 用途の組合せを示した点など、大変意義深い成果が出ている。本課題は、今後のカーボンニュートラル政策に向けて有用な成果が得られているが、CCUS レビューにおける日本のグリーンイノベーション（G I）プロジェクトの位置づけはどのようになるか、学術性と実装性の両側面からの継続的整理を望みたい。